

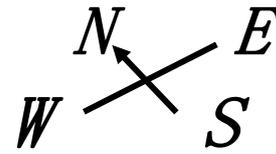
藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット

2022年4月1日

第335号



主
な
記
事

- ・気候非常事態宣言から一年の声明
- ・海から地球が見える 社会が見える
- ・國枝さんを偲んで ・食品の残留放射能
- ・コロナの現状

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

ロシアは直ちにウクライナから撤退し、平和的解決をめざせ

ウクライナを侵略したロシア軍の撤退を求め世界各地で抗議の集会や行動が起きています。

国連総会緊急特別会合は3月2日にロシア非難決議に続き、24日にも市民の保護など人道状況の改善を求める決議案が140か国の賛成で採択されました。世界はロシアが即時撤退することを求めています。

身近なところでは藤沢市議会が3月4日に「ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議」を採択し、同時に藤沢市長も核兵器廃絶平和都市宣言の市として、ロシアの軍事侵攻の即刻中止と事態の平和的解決を求めた声明をだしました。

ウクライナ侵略に多くの学術団体が非難声明を出しています。日本学術会議もG7の学術団体と共に、ロシアの侵略は学問の自由の基礎となる「自由、民主主義及び自決の基本原則に対する攻撃である」と強く非難しました。

広くヨーロッパの環境も深刻です。ロシアは1986年4月に重大事故を起こしたチェルノブイリ原発を占拠し、放射能で汚染した土壌を大量に巻き散らしました。さらに稼働中の原発をも攻撃し、再び重大事故を招く危険を冒しています。戦争は最大の環境汚染と断じていますが、人道的にも原発への攻撃など決して許されません。

全世界からロシアの即時撤退と秩序の回復が大きな世論となりました。数次にわたり停戦交渉を行っていますが、その間にも武力侵攻が続きすでに1ヶ月がたちました。連日報道される惨状や一千万人もの市民が国内外に避難したとの報道には耐えがたい焦燥感を覚えます。ロシア市民も心配です。戦争に抗議した市民が逮捕され、反政府的報道は犯罪となりました。ロシア国民の多くは政府の情報統制でウクライナ侵攻が正しいと信じているといいます。

このまったく手の施しようのない状況に焦燥感の原因があります。そうならないために翻って思う事は、私たちが手にしている日本国憲法の平和主義、基本的人権、言論の自由がいかに大切かということです。
(菅谷芳雄)



カワアイサ(酒匂川にて)

気候危機をみんなで乗り越えよう！

—藤沢市気候非常事態宣言 1 年への声明—

藤沢市が気候非常事態宣言で 2050 年までに温室効果ガス排出実質ゼロをめざすと表明して、2022 年 2 月で 1 年が経過しました。この 1 年、脱炭素化社会の実現に向け、藤沢市では単なる環境施策のみならずエネルギー政策、産業政策等、循環型社会形成の全てに関わる「藤沢市 環境基本計画」、その中でも温暖化対策に特化した「藤沢市地球温暖化対策実行計画」の改定が行われました。

日本政府は 2030 年までの国別温室ガス削減目標を 46%に。また、環境省では地域からの脱炭素化を推進するための「脱炭素先行地域」の取組に力を入れており、ますます私たちの身近な地域からの意識改革が必要とされてきています。

2021 年 11 月に行われた COP26 では、初めて 2030 年までに気温上昇を 1.5℃に抑えることについての国際ルールが合意されました。なお、石炭からクリーン電力への移行声明に 46 カ国が署名するなどの成果もありました。今後国際的にも一層のスピード感をもって脱炭素化が進められていくことが予想されます。しかし、日本政府の削減目標 46%を含め、各国の提出した削減目標では 1.5℃を守れません。

危機は待たなしの問題であり、個人の暮らしだけでなく、脱炭素社会の実現という社会の大きな変化が必要で、政策が変わらなければ解決しません。そのため、急いで子ども達の未来を守る行動を起こしましょう。

この大きな変化には市民一人一人が、気候危機をジブンゴトとして捉え、「変わることが必要」と感じ、変化を受け入れることが必要です。知ればきっと、多くの人が必要を感じるはず。まだ知らないだけで私たちは感じています。

そのために気候危機アクション藤沢は、市民、事業者、行政などと情報を共有し、協力して伝えることを軸に活動を行います。

・藤沢市の炭素時計（気候時計）を作成し、市民気候危機のタイムリミットを見える化させます
・藤沢市政において、脱炭素への取組が具体的に推進していくよう、働きかけます
・脱炭素社会に向けて必要な取組で

ある、再生可能エネルギーや建物の断熱についての講演会を開き、市民に広く伝えます。・他団体と協力し、地域のネットワークを構築して情報の拡散を行います。以上

2022 年 3 月 25 日 NGO 気候危機アクション藤沢

海から地球が見える 社会が見える

「海岸は新しい命の息吹や楽しさに満ち溢れています。"センスオブワンダー" 自然の中で命を感じ、海辺の生物の様相、海の素晴らしさを再確認！」こんなキャッチフレーズで湘南の海岸を参加者と一緒に遊び・気づき・解説をする、もともとダイバーである妻と私がそんな活動を始めてそろそろ 30 年になります。しかし、この 2~30 年の海の変容は激しさを増し、沿岸域の変化は激烈です。

この写真は昭和 30 年代頃の稲村ヶ崎の写真、う一枚は現在の姿です。



海岸浸食によって砂浜が狭くなり、今では台風や高波などのたびに、浜が消え続けているのです。

日本の海岸線は砂浜の急速な消失という状態が続き、日本の海岸のうち 6 割の砂浜が消失してしまうといわれています、いったいどうして？

◆「稲村ウォーキング」ではそんな事にも思いをはせ、ビーチを散策しそれらの原因を探ります。

◆「葉山ウォーキング」では、砂浜で拾える「桜貝」をはじめとする様々な種類の貝殻、漂着する海藻類、更にはもっと目を凝らすと無数のマイクロプラスチック等も見られます。

◆「江の島海岸生物観察会」では磯の生物を採取してみても観察を楽しみながら、2度のオリンピックをはじめとする開発行為が、どれだけの自然を壊し続けてきたか？という事にもちょっと気付いてもらうようにしています。

そうです、これは決して子ども向きの行事ではなく、子どもも大人も一緒に体験するフィールドワークなのです！是非一度ご参加ください！

(NPO気候危機対策ネットワーク代表 武本匡弘)

食品の残留放射能について

現在、食品への残留放射能が話題になっていません。ところが当ニュース2月号の記事のように、調べて見るといまだに一部放射能が検出されます。なぜでしょうか。

11年前の福島原発事故時に、東日本全体は放射能で広く汚染され、その中に北海道も含まれました。東京の水、静岡のお茶も汚染された事が当時報道されました。汚染された地域の農産物生産地域では、除染作業を必死におこない、福島では現在汚染は規制値内に収まり、販売されています。

でも土の除染は表面だけであり、林や森は除染が難しいため、東日本ではキノコ類などに放射能が残留して時々検出されます。

北海道はひどい汚染ではなかったのですが、除染も福島のように徹底的にしていない所があると思われます。それで牛の飼料に放射能が含まれる可能性があり、牛乳に検出される場合があります。

東日本どこでもきちんと除染管理していなければ、放射能は含まれている可能性があります。藤沢のセリやシソにも昨年検出されました。藤沢市のHPに出ています。東日本全体が汚染されていて、セシウム137は半減期が30年です！食物に気をつけて過ごしましょう。

(青柳節子)

國枝さんを偲んで 忘れられない2つの思い出

國枝健さんが去る2月7日亡くなられた。当日、自宅で療養されていた國枝さんを見舞ったその夜のことだった。本当に間に合ってよかったと思う。

國枝さんとは、環境運動面では、藤沢エコネットと武田問題対策連絡会で一緒に活動した思い出が懐かしい。



國枝さんは、現役時代ジャーナリストだったので、武田連絡会のニュースを一手に引き受け20数号も発行された。そんな中で、國枝さんは、国内ばかりで無く外国にも宣伝しなければならないと言って英語版のニュース

も作り、有楽町にある外国特派員協会に持って行って配布して貰った。何回か出かける内に、当時、外国特派員協会の会長だったルーシー・バーミンガム女史と面識になり、彼女が講師をしていた東京工業大学の授業で、武田問題について講演してくれないかと要請があり、二人で出かけて行った。東工大では10数名の学生の前で、二人で代わるがわる話をした。大学で話をするなどということはめったにないので、二人とも緊張したが、みんな熱心に話を聞いてくれ、若い学生は真面目だなあと、つくづく思った次第である。講義のお礼にワインを1本ずつ貰ったこともなつかしい。もう一つの思い出は、二人で、大阪で開かれた武田の株主総会に出席したことである。会場の入り口でビールを配り、中に入ると2000名近い株主が入っており、圧倒されたが、遺伝子組み換え排水漏洩問題については発言した。事前に、発言通告はしておいたのだが、長谷川会長が、なかなか指名してくれないので、前もって武田の担当者としし合せておいた「藤沢」と書いたステッカーを二人で大きく振って発言させたことも懐かしい。株主総会までの往復運賃は、二人とも武田の株を買っておいたので、配当金で、一銭も負担なく行って帰れたのが幸いだった。(小林麻須男)



コロナの現状 ⑩

横浜市内にあるM大学病院で働く看護師の実態を聞いてみた。コロナ禍で基幹病院であるため、今も忙しさは変わらない。

この病院では一昨年、新型コロナウイルス感染症が拡大し始めたころに院内感染により、ほぼすべての医療活動が停止、その後工事を行い換気ダクトやドアの取り付けなど防護工事を行って二度と院内感染させないよう徹底した対策をとった。そして職員への感染対策の教育が徹底された。

20年6月上旬から再開、院内のコロナ感染症ゾーンを指定した。スタッフは医師、看護師、看護助手、検査技師、リハビリの医師などが当たり全員防護服を着用している。

病院玄関に体温検知システムを設置、受付や各所に飛沫予防フィルムを設置。外来待合席は1つ置きにソーシャルディスタンス、感染が疑われる患者や陽性が確定した患者は、感染症対応病棟へ入院。また、陽性患者は状態により対応可能病院への転院・自宅やホテル療養をお願いする場合もある。面会は小児・新生児病棟を除いて原則禁止、入院中は運動と脳トレなどを実施している。

救急の病床は18床であるが一般病棟や小児病棟もコロナ病棟に変わり、44床になっている。重症者や軽症者も混ざっていて、今は最大時より減ってきてはいる。神奈川県による患者受け入れの要請である。

看護師自身は忙しい中でもローテーションを組み休みは取れている。しかし人手は足りないのでギリギリの状態。重症者の床ずれ予防のため、腹臥位(うつ伏せ)療養するため体重の重い人は大変である。中堅の看護師になると、いろいろなプロジェクトが組み込まれるので、感染症の対策には日々勉強が大切であり、呼吸器疾患の勉強をしたと言う。最新の世界的な治療も取り入れ役立つようになった。やむを得ない場合は、運用基準やパンフ作りなどは持ち帰り自宅でやらざるを得ない状況。日々は忙しいが、苦しくても頑張ってお治療を受け、良くなられる患者がいるので、それを励みに頑張っていると話された。(荒井)



ECONET INFORMATION

▲今こそ 憲法9条を世界に

5月7日(土) 13:30 開演

市民会館小ホール 参加費¥500

第1部 高田健さん(総がかり行動実行委員会)

第2部 武本匡弘さん(気候危機対策ネットワーク)「戦争は最大の環境破壊」

主催 ふじさわ・九条の会 問合せ 909-9239-0864

▲「幻想の新型原子炉 高温ガス炉と新型原子炉」

講師 後藤政志さん(元東芝原子炉容器設計者)

4月23日(土) 14:00-

茅ヶ崎市民文化会館 4F 参加費800円

主催 チームみつばち 080-3179-0279

▲海の生物観察 江の島観察会

4月30日(土) 13:00-16:30(2時間程度)

申込み/エコストアパパラギ 0466-50-0117

上映会「祝の島」①4月10日(日) 10:30-

②4月24日(日) 16:00-③4月28日(木)

10:30- 入場料1000円

エコストアパパラギ 2階 予約制



▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

【ゆうちょ銀行 加入者名 藤沢エコネット

口座番号 00240-9-46501】

◆事務局会議 4月9日(土) 10:00~六会公民館

放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$) 地上50cm

3/29 曇り 市役所分庁舎前 0.074

3/28 晴 引地川親水公園 0.024

《編集後記》桜が満開の新年度になった。コロナのモヤモヤを吹き飛ばしてほしいものだ。「ゆうちょ銀行」での振り込みは1/17から改定され手数料が掛かるようになった。ちょっとした送金5万円未満にもATMで110円、窓口では203円かかる。また小銭の両替にも手数料が…。振込通知はどこからどこへの情報がなく、ネットで「振替受払通知票 Web照会サービス」を調べるのは難儀だ。ただコンビニからの送金は無料のようだ。昔の郵便局はどこへ行ってしまったのか。(H)